

見附市子ども読書活動推進計画

(案)



平成21年 月

見附市教育委員会

目 次

第 1 章 子ども読書活動推進計画策定にあたって

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の期間	1
3	計画の目的	1
4	基本的方策	1
5	数値目標	2

第 2 章 子ども読書活動の現状と課題および推進のための取り組み

1	家庭における読書活動の推進	3
2	保育園・幼稚園・子育て支援センターにおける読書活動の推進	4
3	学校における読書活動の推進	5
4	図書館における読書活動の推進	6
5	公民館における読書活動の推進	7
6	読書活動推進のための連携・協力	8

資料編

	子どもの読書活動の推進に関する法律	9
	子どもの読書に関するアンケート調査結果の概要	11

第1章 子ども読書活動推進計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

近年、子どもの「活字離れ」や国語力の低下、対話による問題解決能力の低下等が指摘されています。読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。しかし、幼児期の読書習慣の不足やテレビ、インターネット、携帯電話等の情報メディアの普及から、子どもたちの読書離れが進んでいると言われていいます。

このような情勢から未来を担う子どもたちの読書活動について一人ひとりの成長の状況に応じて豊かな読書体験を得ることができるよう継続した読書の習慣を身に付けるとともに、その環境を整備していくことはとても大切です。

平成13年12月には子どもの読書活動を推進するため「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行され、これに基づき平成20年3月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（第2次）」が文部科学省から公表されました。また、新潟県においては子どもたちの豊かな心の育成と健やかな成長を願い、子どもたちが意欲的に読書に親しみ、読書習慣を身につけることができる環境づくりを目指して平成16年3月に「新潟県子ども読書活動推進計画」（第1次計画）を策定しその推進に取り組んできました。さらに県ではこれまでの成果・課題を明らかにし、今後の取組の方向性を示すため第2次計画を平成21年3月に策定予定です。

見附市では、次代を担う子どもたちの健やかな成長を願い「見附市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動を推進していきます。

2 計画の期間

平成21年度から概ね5年間とします。

3 計画の目的

生涯を通じて本に親しむことができるよう、子どもの読書環境の整備および自主的な読書活動を推進し、心豊かでたくましく生きる子どもの育成を目指します。

4 基本の方策

読書環境の充実

乳幼児期から発達段階に応じて読書に親しめるよう、読書を楽しむ環境づくりを進め

ていきます。

読書活動についての理解と促進

読書の楽しさ、意義等についてさまざまな機会をとらえ啓発し、自主的な読書活動を支援していきます。

関係機関との連携強化

読書活動を幅広く効果的に推進していくため家庭・地域・学校・保育園・幼稚園・図書館・公民館それぞれの連携を強化していきます。さらに、読み聞かせボランティア等の人材育成や保育士、学校教職員等の読書活動に対する意識の向上を図ります。

5 数値目標

本計画を推進するための指針として次の二つの数値目標を設定します。

園児に対して家で読み聞かせをしている保護者の割合

90%以上（平成20年8月調査：84.3%）

家で読書をする児童生徒の割合

小学校2年生 95%以上（平成20年7月調査：93.6%）

小学校5年生 90%以上（平成20年7月調査：89.8%）

中学校2年生 85%以上（平成20年7月調査：81.0%）

第2章 子ども読書活動の現状と課題および推進のための取り組み

1 家庭における読書活動の推進

現状と課題

家庭は、子どもが読書に親しむ習慣を身につける最初の間です。眠る前に親から読み聞かせをしてもらえる子どもはその時間を心待ちにしています。子どもは読み聞かせてくれたお話の楽しさの中で眠ることができ、その日の読み聞かせはこどもの心に残ります。このように家庭での読書に対する取り組みが子どもの読書意識に大きく関わっています。読書に親しみの薄い家庭では、乳幼児期の読み聞かせ量の不足やDVDレコーダー、ゲーム機器等の普及で読書離れが進んでいます。

このため、家庭においては読み聞かせをしたり子どもと一緒に本を読んだりするなど工夫して子どもが読書に親しむきっかけを作ることが重要です。

取り組み

- ・家庭での読書環境の充実を図ります。・・・**基本的方策**

母子手帳交付時、4ヵ月児健診、3歳児健診等の機会に読み聞かせを行うとともに、絵本をプレゼントし家庭での読書活動の推進に繋げていきます。

また、テレビを消すなど静かな環境で集中して読書ができるよう啓発していきます。

- ・読み聞かせの促進とその重要性について啓発します。・・・**基本的方策**

母子健診や健康相談時などさまざまな機会に最も身近な存在である保護者に対して絵本の選び方、読み聞かせの方法、重要性について啓発し読み聞かせを促進していきます。

- ・図書とふれあうきっかけづくりの手助けを行います。・・・**基本的方策**

乳幼児とその保護者等と一緒に楽しめる絵本、あるいは小学生、中学生の成長過程に合せた優良図書を図書館、保育園・幼稚園、学校等を通じ家庭に紹介し、家庭での読書活動を支援します。

2 保育園・幼稚園・子育て支援センターにおける読書活動の推進

現状と課題

幼児期に読書の楽しさを知ることができ、読書の楽しさやいろいろな本と出会える環境を図るため、毎日の保育の中で絵本の読み聞かせや紙芝居を行っています。また、家庭で親子と一緒に読書を楽しめるよう図書館と連携して貸し出しを行っています。絵本の読み聞かせによる効果を保護者に周知するため、園だよりやほのぼの通信等への掲載や講演会を開催しています。保護者の読書に対する関心は高まっていますが、これからも啓発活動を継続的に行う必要があります。

取り組み

- ・ 図書コーナーを整備し、絵本の充実を図ります。・・・**基本的方策**

市内すべての保育園・幼稚園において園児が絵本に親しむ機会を確保し、読書を習慣として身につけていくために、「見附の子どもの本 乳幼児向け絵本リスト」に掲載の100冊を年次計画で整備していきます。また、子育て支援センターにおいても図書コーナーを整備し発達段階に応じた絵本を整備していきます。

- ・ 絵本の読み聞かせ等により、読書の楽しさに触れる機会を増やします。

・・・**基本的方策**

子どもは絵本を見たり物語を聞いたりして、ことばを覚え、想像する力を身につけイメージを広げます。保育園・幼稚園では保育士等による読み聞かせのほか、家庭児童相談員等が園を訪問し読み聞かせを行うなど、その機会を増やしていきます。

また、子育て支援センターにおいては4ヵ月児対象のブックスタート事業のフォローが適切に行えるよう絵本の読み聞かせ会を定期的に行い、就園前の乳幼児の読書活動が途切れないよう支援していきます。

- ・ 読み聞かせ講座等への職員の参加を促進します。・・・**基本的方策**

子どもが読書に興味を示すには保育士等、大人の働きかけが大切です。職員全員が指導力向上を目指し計画的に講座や研修会を開催します。

3 学校における読書活動の推進

現状と課題

心身を育む時期の生活において読書は広く世の中を知る上で欠くことのできないものであり、また情緒の形成に効果的です。しかしながら、市内小中学校の子ども1ヵ月の読書量は、学年が進むにつれ減少する傾向にあります。

学校には図書室がありますが、その蔵書数は学校図書館図書標準の定める冊数に達していない学校もあり、児童生徒の多様な興味や関心に応じられる環境とはいえません。

このような環境の中でも朝読書の時間の確保や読み聞かせの実施等、本に慣れ親しむ習慣をつけるとともに、知的探究心や好奇心を満足させるよう図書の貸し出しも行ってあり、これらの取り組みは一層強化していかなければなりません。

このことから、すべての教職員が連携して子どもの読書活動を推進していくことが重要であり、学校図書室を活用した指導の充実が求められます。

取り組み

- ・学校図書室の整備、充実を図ります。・・・**基本的方策**

児童生徒の多様な興味・関心に応じられるよう、早期に学校図書館標準冊数達成を目指します。また、子どもの希望を取り入れ、子どもが読んでみたい本を揃えるため、市図書館の本を学校図書室へ貸し出すなど幅広い活用を図ります。

- ・児童生徒の自主的な読書習慣を身に付けさせます。・・・**基本的方策**

全校一斉の朝読書は継続し、さらに子どもの読書100冊運動を実施することにより読書意欲を高め読書に親しむ心を育てます。

また、保護者から読書の楽しさや大切さを理解してもらうため、講演会への参加やたより等を通じて保護者に啓発します。

- ・全校体制で読書活動を推進していきます。・・・**基本的方策**

校内研修等により学校における読書の重要性について、すべての教職員の共通理解を図り読書活動を支援します。

4 図書館における読書活動の推進

現状と課題

図書館は、子どもたちが自分の読みたい本を自由に選んで読書の楽しみや喜びを知ることができる身近な施設です。また、保護者にとっても子どもと一緒に本を選んだり、ともに読書をする場として、子どもの読書活動を推進する拠点的な役割を担っています。

図書館では、資料の充実のほか、館内での読み聞かせ・おはなし会・手作りランドなど季節ごとにさまざまな講座や事業を展開するとともに、保育園、学校などに出向いて読み聞かせやブックトークなどを開催し、本への興味・関心を高めるよう努めています。

しかし市内に一館のため、図書館から遠い地域の子どもたちは利用の機会も少なく、十分なサービスが受けられないことが課題であり、学校・保育園等との連携が必要です。

取り組み

- ・ 図書の充実と環境整備を図ります。

魅力的な児童図書収集を計画的に行います。また、障がいのある子どもや外国語資料の充実を図り、環境の整備に努めます。積極的な研修受講等により、職員の子どもの本に対する知識・技術の向上を図ります。 . . . **基本的方策**

- ・ 子どもたちはもとより保護者や大人に対しても、読書に関する情報や活動の機会を提供します。

読み聞かせボランティアを養成するとともに、活動中のボランティアを支援する体制を整えます。「見附の子どもの本 乳幼児向け絵本リスト」の配布、「万華鏡(図書館広報誌)」やホームページ等での広報活動に努めるほか「見附教育の日」や「子ども読書の日」等の機会を捉えて、子どもの読書に関しての啓発を推進します。 . . . **基本的方策**

- ・ 保育園や幼稚園、学校、地域との連携を強化します。 . . . **基本的方策**

「見附の子どもの本 小学生向けリスト 100」を学校及び市内の子どもの読書にかかわる方々と作成し、児童や保護者の読書への関心を高めます。また、読み聞かせ、ブックトーク、団体貸出など読書ボランティアを支援しながら一層の拡大と充実を図ります。

5 公民館における読書活動の推進

現状と課題

公民館では読み聞かせボランティアを中心におはなし会等、子どもやその保護者も交えた事業を行っています。

今後も子どもの読書活動を推進していくため、地域の子どもたちが気軽に本と接する機会が増えるよう、ボランティアによる読み聞かせ事業等をさらに充実させるとともに、日ごろから子どもたちが図書に触れることができるよう、その環境を整備することが大切です。さらに、子どもの読書活動推進に大きな影響力を持つ保護者への啓発も行っていく必要があります。

取り組み

- ・気軽に読書ができる環境を整備します。

遠方などの理由で市図書館を利用することが困難な子どもたちが手軽に本に親しめるよう施設にあわせた図書コーナーを設け、良い本を充実させるよう努めます。

・・・**基本の方策**

- ・読書の楽しさ、面白さを伝えます。

家庭教育講座等で保護者に対して読書の重要性について啓発していきます。また、読み聞かせ事業等、子どもが読書に関心を持つような事業をさらに充実させます。

・・・**基本の方策**

- ・読み聞かせボランティアを募集します。

幅広い年齢層から読み聞かせ等に関する講習会に参加してもらうことにより、読書の楽しさを知るきっかけ作りの提供を行い、新しいボランティアグループの育成を行います。

・・・**基本の方策**

6 読書活動推進のための連携・協力

現状と課題

子どもの読書活動を推進するため保育園・幼稚園、学校、図書館、公民館、ボランティアグループ等はそれぞれ活動し効果を上げています。読書が習慣として身につき自主的な読書活動ができるよう、また本を読むことが好きになる感性豊かな子どもを増やすため、子どもが読書に親しむ機会を幅広く提供していかなければなりません。このことから、関係機関が互いに連携・協力しながら、読書機会の充実や環境整備に取り組んでいく必要があります。

取り組み

- ・ 図書館及び公民館では関連施設向けのサービスの充実を図ります。

・・・**基本の方策**

保育園、幼稚園、子育て支援センター、学校でのそれぞれ活動をより効果的に実施していくため、これらの機関は、図書館、公民館等との連携を強化していき子どもとその保護者が読書と出会う機会を充実させます。



子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

（都道府県子ども読書活動推進計画等）

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

（財政上の措置等）

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

子どもの読書に関するアンケート調査結果の概要

1 調査の目的

この調査は、見附市子ども読書活動推進計画の策定にあたり、子どもの読書活動の現状を把握するとともに、子どもの読書活動に影響を与える要因との関連を明らかにすることにより本市の子ども読書活動推進計画策定の参考資料とする。

2 調査対象

【小中学校】

市内小中学校の児童生徒のうち、調査対象学年を小学校2年、同5年、中学校2年に絞り実施。

【保育園】

市内公立保育園の全園児（記入者は園児の保護者）

3 調査期間

【小中学校】平成20年7月17日～平成20年7月25日

【保育園】平成20年8月19日～平成20年8月27日

4 回収結果

	対象者数（回収数【率】）
小学校2年	383人（377人【98.4%】）
小学校5年	378人（332人【87.8%】）
中学校2年	438人（416人【95.0%】）
計	1,199人（1,125人【93.8%】）
保育園児	484人（413人【85.3%】）

どくしょ 読書アンケート

あなたは、^{なんねんせい}何年生ですか。あてはまるものを でかこんでください。

- ア ^{しょうがっこう}小学校 2年生
- イ ^{しょうがっこう}小学校 5年生
- ウ ^{ちゅうがっこう}中学校 2年生

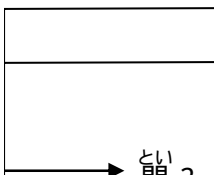
^{ちゅうい}注意・・・「^{ほん}本」にはマンガや雑誌はふくめません

^と問 あなたは^{ほん}本が好きですか。あてはまるもの1つを でかこんでください。

- ア ^す好き
- イ どちらかという^すと好き
- ウ どちらかという^すと好きではない
- エ ^す好きでない

^と問 2 - ^{いえ}家で^{ほん}本を^よ読みますか。あてはまるもの1つを でかこんでください。

- ア 毎日、^よ読む …… ^と問 へすすんでください
- イ ときどき^よ読む …… ^と問 へすすんでください
- ウ あまり^よ読まない …… ^と問 2 - へすすんでください
- エ まったく^よ読まない …… ^と問 2 - へすすんでください



^と問 2 - 「あまり^よ読まない」、「まったく^よ読まない」と^{こた}答えたと^き同時に^{りゆう}聞きます。その理由は何^{なん}ですか。あてはまるもの^{すべ}すべてを でかこんでください。

- ア ^{べんきょう}勉強や^{じゅく}塾、^{ぶかつどう}部活動でいそがしいから
- イ テレビやゲームをするので^{ほん}本を^よ読む^{じかん}時間がないから
- ウ ^{そと}外で^{あそ}遊ぶので^{ほん}本を^よ読む^{じかん}時間がないから
- エ ^よ読みたい^{きもち}気持ちはあるが、どんな^{ほん}本を^よ読んだらいいのかわからないから
- オ ^よ読みたいが、^よ読みたい^{ほん}本が^{ちか}近くにないから
- カ ^よ読みたいと思わないから
- キ その他(その^{りゆう}理由)

^と問 6月^{がつちゅう}中に^{いえ}家で、おおよそ^{なんさつ}何冊^{ほん}くらい^よ本を^よ読みましたか。 ^よ読んだ^{ほん}本の^{かず}数^かを書いてください。

さつ

^{つづ}つづ
うらに続^くく

問 4 - あなたは本を読んだり借りたりするため学校の図書室に行きますか。あてはまるもの1つを でかこんでください。

ア 1週間に1回以上、行く 問 へすすんでください

イ 1か月に1~2回くらい行く 問 へすすんでください

ウ ほとんど行かない(1年に1~2回くらい行く) 問 4 - へすすんでください

エ まったく行かない 問 4 - へすすんでください

問 4 - 「ほとんど行かない」、「まったく行かない」と答えたひとに聞きます。その理由は何ですか。あてはまるものすべてを でかこんでください。

ア 本が少ししかない

イ 読みたい本がない

ウ 新しい本がない

エ 借りる時間がない

オ 本を借りるのがめんどろ

カ 本を読みたいと思わない

キ その他(その理由)

問 あなたは家族の人から本を読んでもらったことがありますか。あてはまるもの1つを でかこんでください。

ア よく読んでもらった

イ たまに読んでもらった。

ウ ほとんどなかった

エ まったくなかった

問 6 - あなたは本を読んだり借りたりするため見附市図書館に行きますか。あてはまるもの1つを でかこんでください。

ア 1週間に1回以上、行く 質問はこれで終わりです

イ 1か月に1~2回くらい行く 質問はこれで終わりです

ウ あまり行かない(1年に1~2回くらい行く) 問 6 - へすすんでください

エ まったく行かない 問 6 - へすすんでください

問 6 - 「あまり行かない」、「まったく行かない」と答えたひとに聞きます。あてはまるものすべてを でかこんでください。

ア 本が少ししかない

イ 読みたい本がない

ウ 新しい本がない

エ 行きたいが忙しくて行けない

オ 行きたいが遠くて行けない

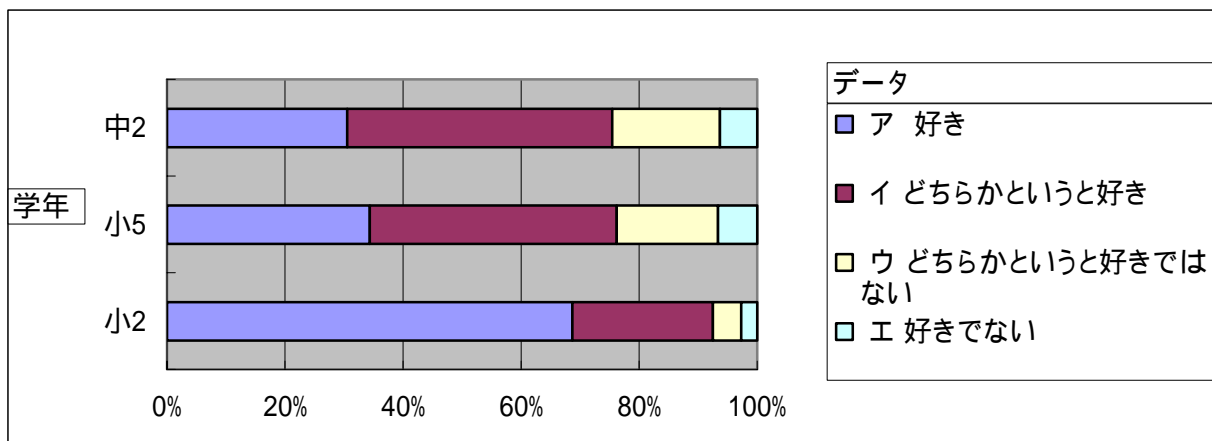
カ その他(その理由)

質問はこれで終わりです。ありがとうございました。

問1 あなたは本が好きですか。

年齢が上がるごとに本が好きな子どもの割合が減少傾向にあることがうかがえる。

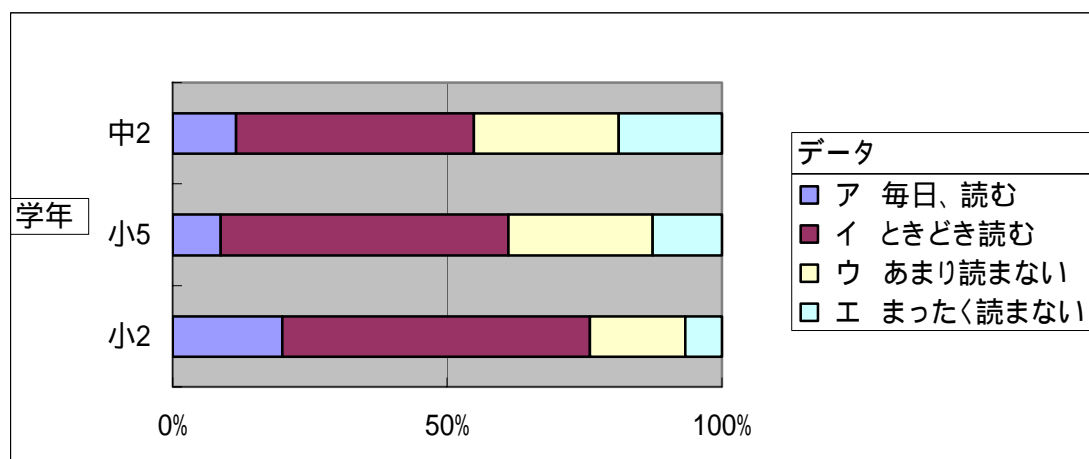
学年	ア 好き	イ どちらかという好き	ウ どちらかという好きではない	エ 好きでない
小2	257	89	18	10
小5	114	139	57	22
中2	127	187	76	26
総計	498	415	151	58



問 2 - 1 家で本を読みますか。

問 1 の本が好きな子の割合に比例するように、年齢が上がるごとに家で本を読む頻度も少なくなっていることがうかがえる。

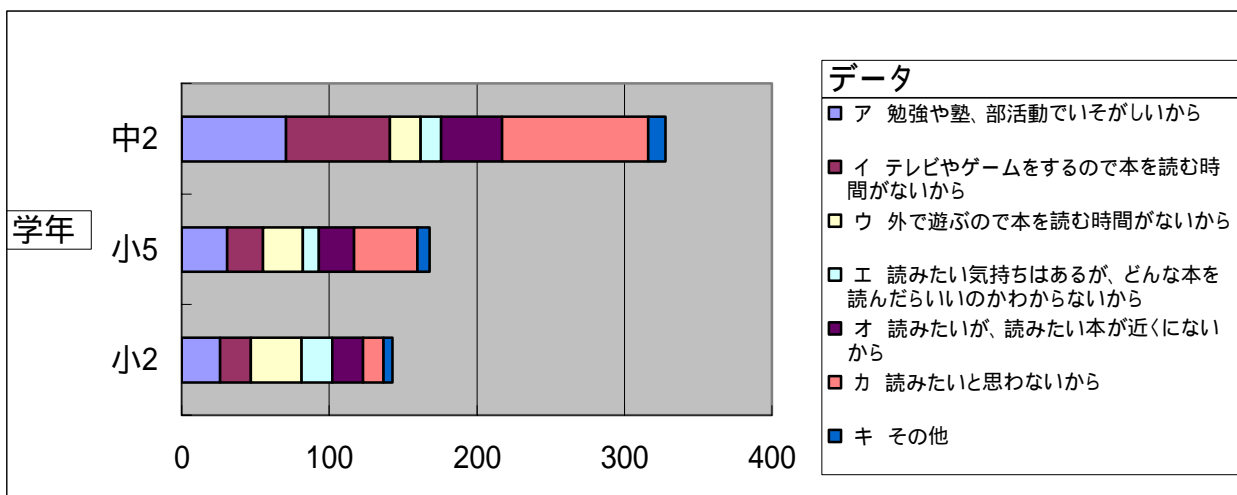
学年	ア 毎日、読む	イ ときどき読む	ウ あまり読まない	エ まったく読まない
小2	75	210	65	25
小5	29	174	87	42
中2	48	180	110	78
総計	152	564	262	145



問2 - 2 問2 - 1で「あまり読まない」「まったく読まない」と答えた人に聞きます。その理由は何ですか。（複数回答可）

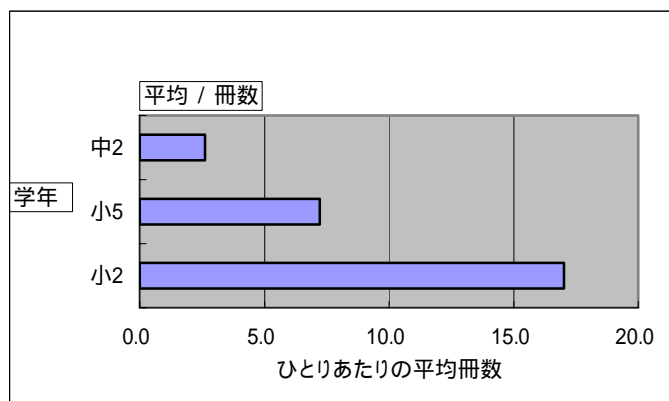
家であまり読書をしない理由を聞いたところ、中学2年生、小学5年生では「読みたいと思わない」という理由が最も多く、また小学2年では「外で遊ぶので本を読む時間がない」という理由が最も多かった。読書時間の確保の難しさやテレビやゲームへの興味など活字に対する関心が少ないことがうかがえる。

学年	ア 勉強や塾、部活動でいそがしいから	イ テレビやゲームをするので本を読む時間がないから	ウ 外で遊ぶので本を読む時間がないから	エ 読みたい気持ちはあるが、どんな本を読んだらいいのかわからないから	オ 読みたいが、読みたい本が近くにないから	カ 読みたいと思わないから	キ その他
小2	26	21	34	21	21	14	6
小5	31	24	27	11	24	43	8
中2	71	70	21	14	41	99	12
総計	128	115	82	46	86	156	26



問3 6月中に家で、おおよそ何冊くらい本を読みましたか。

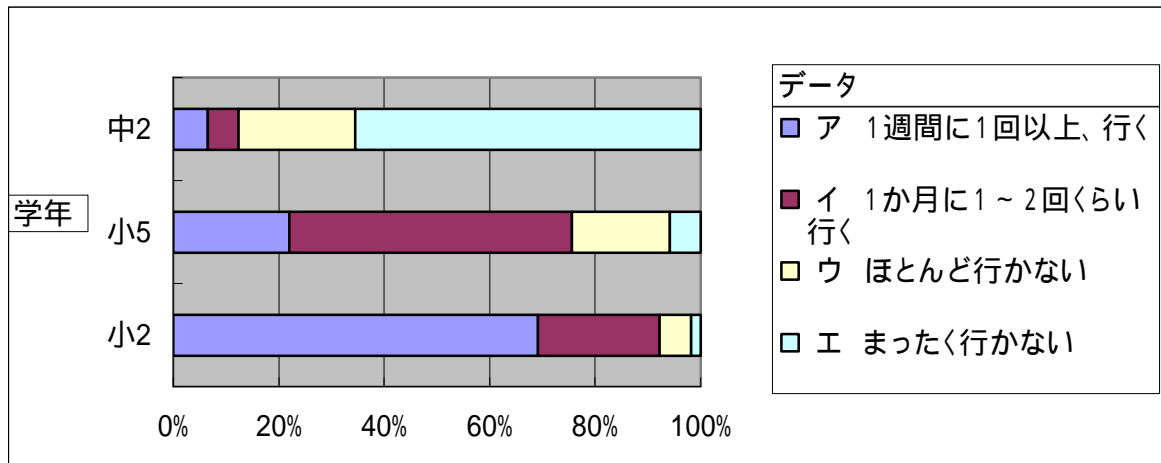
学年	平均 / 冊数	まったく読まなかった人(率)
小2	17.0	24人(6.4%)
小5	7.2	34人(10.2%)
中2	2.6	79人(19.0%)
総計	8.8	137人(12.2%)
全対象者		1,125人



問4 - 1 あなたは本を読んだり借りたりするため学校の図書室に行きますか。

小学校2年生では1か月に1回以上行く児童が92.2%であるが中学2年生では「ほとんど行かない」、「まったく行かない」と答えた生徒が87.6%となっている。

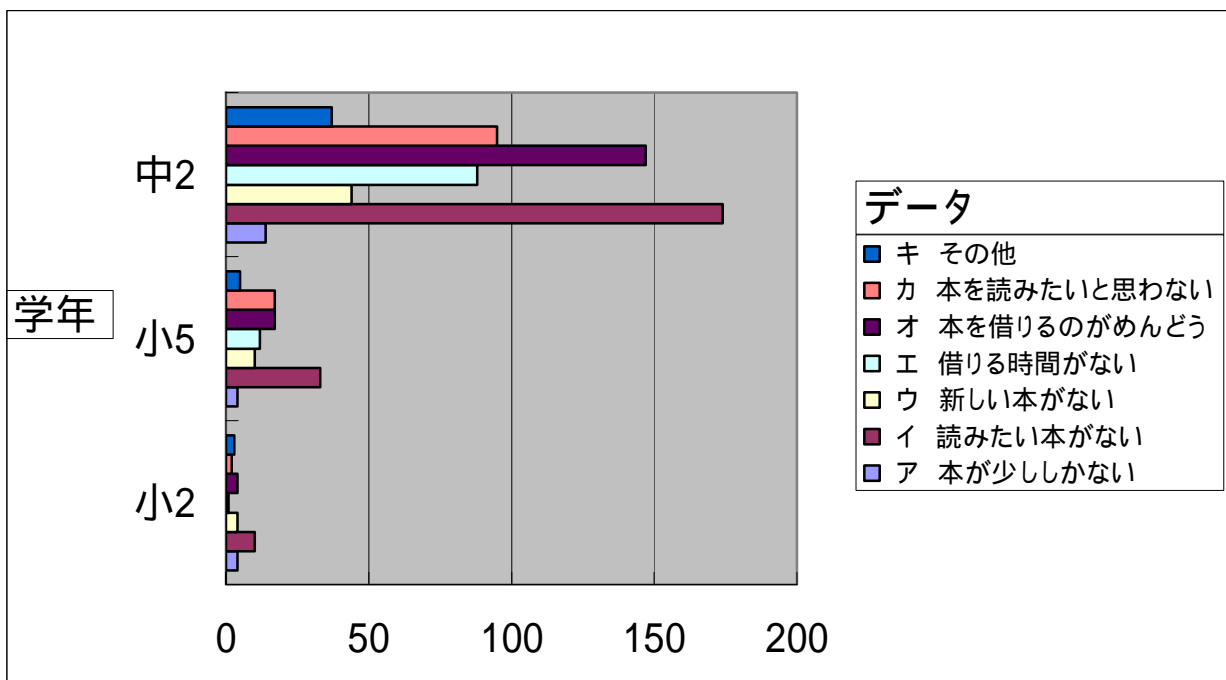
学年	ア 1週間に1回以上、行く	イ 1か月に1～2回くらい行く	ウ ほとんど行かない	エ まったく行かない
小2	258	86	22	7
小5	72	176	61	19
中2	27	24	91	270
総計	357	286	174	296



問4 - 2 問4 - 1で「ほとんど行かない」、「まったく行かない」と答えた人に聞きます。その理由は何ですか。（複数回答可）

小学生、中学生とも「読みたい本がない」という蔵書に関する理由を一番に上げており、また15%の児童・生徒が「本を読みたいと思わない」と考えている。

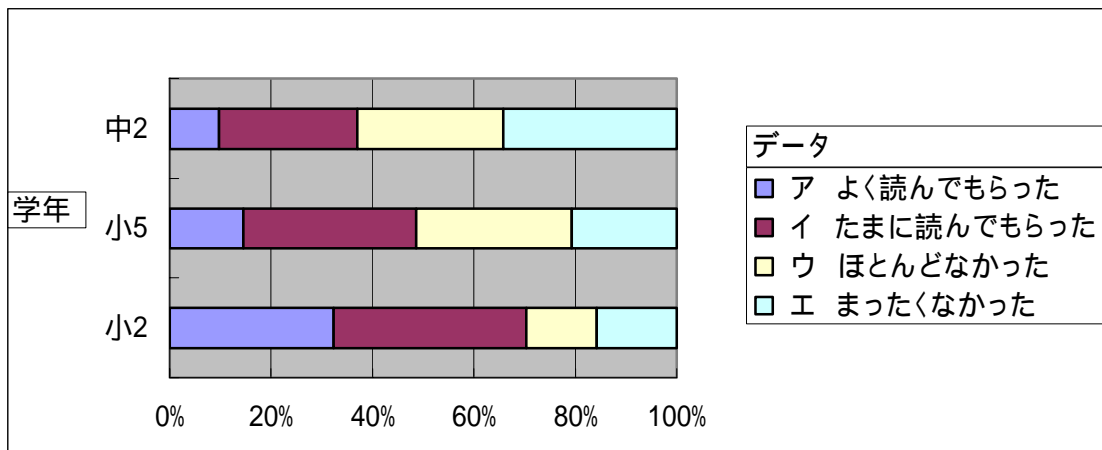
学年	ア 本が少ししかない	イ 読みたい本がない	ウ 新しい本がない	エ 借りる時間がない	オ 本を借りるのがめんどろ	カ 本を読みたいと思わない	キ その他
小2	4	10	4	1	4	2	3
小5	4	33	10	12	17	17	5
中2	14	174	44	88	147	95	37
総計	22	217	58	101	168	114	45



問5 あなたは家族の人から本を読んでもらったことがありますか。

家族からの読み聞かせの体験率は「よく読んでもらった」「たまに読んでもらった」を合わせると小学校で60%、中学校で37%となっている。

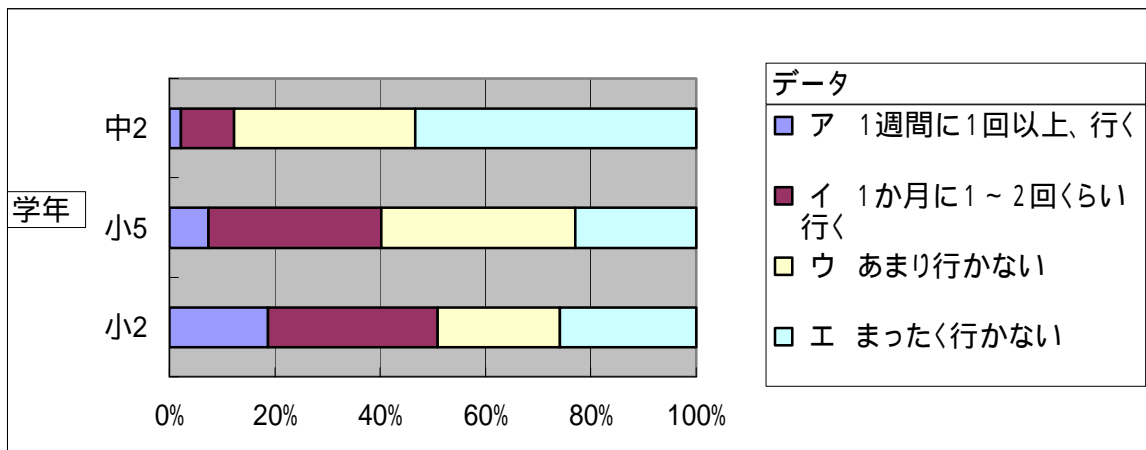
学年	ア よく読んでもらった	イ たまに読んでもらった	ウ ほとんどなかった	エ まったくなかった
小2	121	142	52	59
小5	47	110	99	67
中2	39	109	115	137
総計	207	361	266	263



問 6 - 1 あなたは本を読んだり借りたりするため見附市図書館に行きますか。

小学校2年生では1か月に1回以上行く児童が5割を超えているが、中学2年生では「ほとんど行かない」、「まったく行かない」と答えた生徒が87.7%となっている。

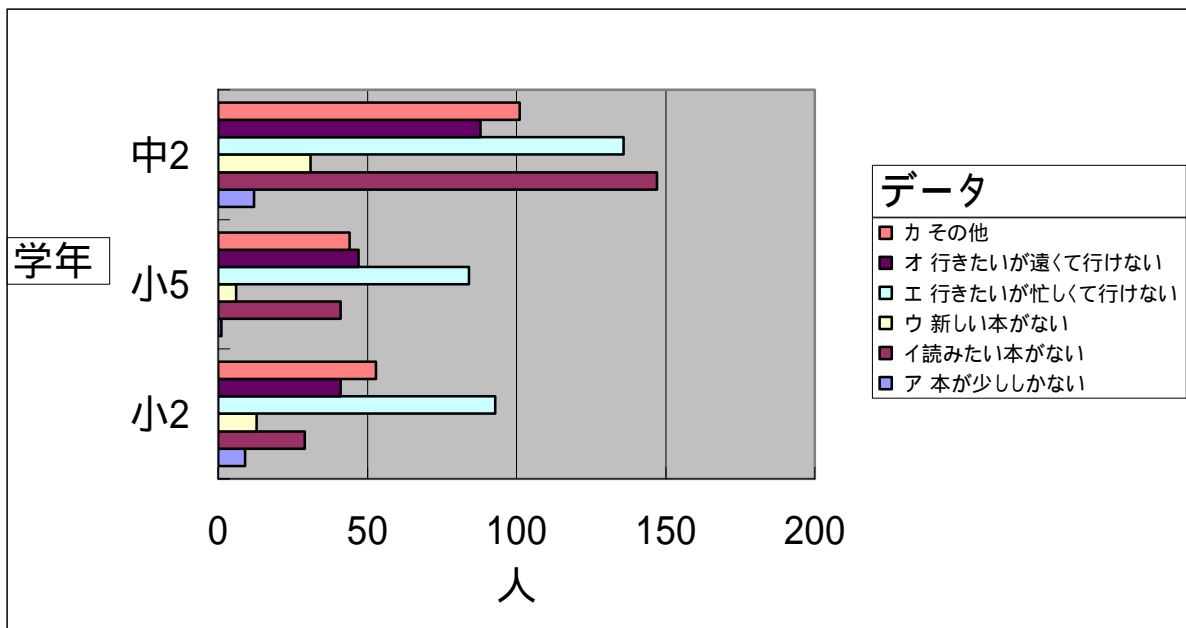
学年	ア 1週間に1回以上、行く	イ 1か月に1～2回くらい行く	ウ あまり行かない	エ まったく行かない
小2	70	121	87	97
小5	24	106	119	74
中2	9	42	142	221
総計	103	269	348	392



問6 - 2 「あまり行かない」、「まったく行かない」と答えたひとに聞きます。その理由は何ですか。（複数回答可）

「行きたいが忙しくて行けない」が最も多く、これは小学生では親の都合によるところが大きく、行動範囲の広がる中学生では勉強や部活動など本人の都合によるところが大きい状況がうかがえる「他には読みたい本がない」という意見が多かった。

学年	ア 本が少ししかない	イ 読みたい本がない	ウ 新しい本がない	エ 行きたいが忙しくて行けない	オ 行きたいが遠くて行けない	カ その他
小2	9	29	13	93	41	53
小5	1	41	6	84	47	44
中2	12	147	31	136	88	101
総計	22	217	50	313	176	198



こどもの読書に関するアンケート調査表

保育園名 _____

～ご記入にあたって～

通園しているお子さん1人につき調査表1枚となります。したがって例えば通園しているお子さんが2人の場合は、このアンケート調査表を2枚(お子さん個々に)ご記入ください。

ご記入いただいた調査表はお子さんが通園している保育園へ8月27日(水)まで提出してください。

お子さんの年齢を教えてください。あてはまるもの1つを で囲んでください。

- ア 0歳児
- イ 1歳児
- ウ 2歳児
- エ 3歳児(年少)
- オ 4歳児(年中)
- カ 5歳児(年長)

問1 家にある絵本は、おおよそ何冊くらいですか。

冊

以下の項目は で 印をつけていただいたお子さんのことについてお答えください。

問2 お子さんは絵本が好きですか。あてはまるもの1つを で囲んでください。

- ア 好きだと思う
- イ どちらかという好きな方だと思う
- ウ どちらかという好きではないと思う
- エ 好きではないと思う
- オ わからない

問3 - 1 家でお子さんに「読み聞かせ」を行っていますか。あてはまるもの1つを で囲んでください。

- ア 行っている
- イ 行っていない → 問4 - 5へ進んでください

問3 - 2 家でのお子さんへの読み聞かせは誰が行っていますか。あてはまるものすべてを で囲んでください。《複数回答可》

- ア 母親
- イ 父親
- ウ 祖父母
- エ 兄・姉
- オ その他()

うらに続く

問3 - 3 お子さんにしてあげる読み聞かせの回数を教えてください。あてはまるもの1つを
で囲んでください。

- ア 毎日
- イ 週に2～3回
- ウ 月に2～3回
- エ その他()

問3 - 4 主にどんな時に読み聞かせをしていますか。最もあてはまるものを1つのみお答えく
ださい。

- ア ねる前 → 問5へ進んでください
- イ ねだられた時 → 問5へ進んでください
- ウ 時間のある時 → 問5へ進んでください
- エ その他() → 問5へ進んでください

問3 - 5 読み聞かせをしていない理由について教えてください。あてはまるものすべてを で
囲んでください。《複数回答可》

- ア 時間的余裕がない
- イ 方法がわからない
- ウ 必要性がない
- エ 適当な本がない
- オ その他()

問4 お子さんのための見附市図書館の利用頻度を教えてください。あてはまるもの1つを で
囲んでください。

- ア 週1回以上
- イ 月1回程度
- ウ 年に1～2回程度
- エ 利用していない

問5 保育園からの絵本の貸し出しについて要望があったらお聞かせください。

問6 乳幼児期から絵本の楽しさやいろいろな本と出会える環境を図るため保育園では毎日の保
育の中で読み聞かせなどを行っていますが、お子さんの読書を習慣付けるため保育園に対し
て何か要望があればお聞かせください。

(例) もっと読み聞かせをしてほしい。もっと本の紹介をしてほしい。など

ご協力ありがとうございました。

【お問い合わせ先 見附市役所 こども課 元気子育て係 62 - 1700】

問 1 家にある絵本はおおよそ何冊くらいですか。

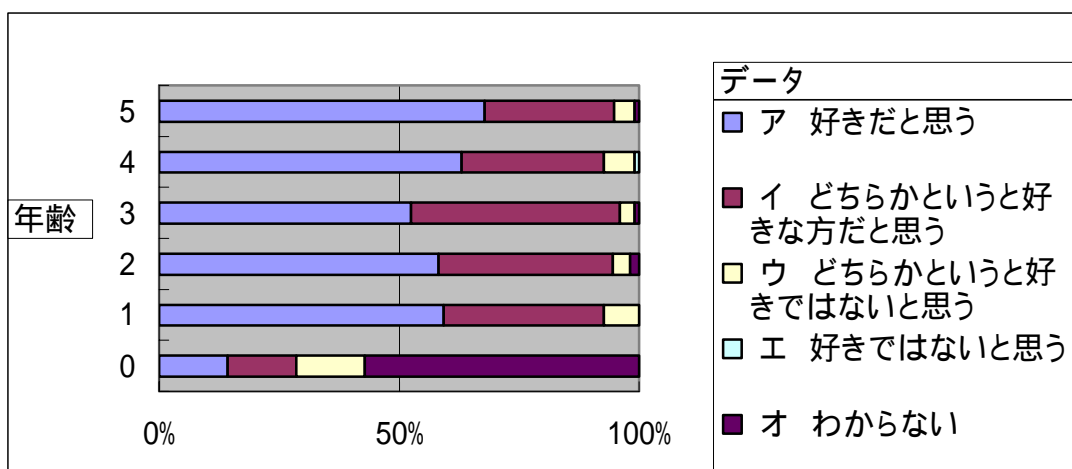
平均冊数で見ると0歳児を持つ家庭を除き、22冊から28冊となっている。

年齢	平均 / 冊
0	12
1	22
2	24
3	22
4	28
5	28
総計	25

問 2 お子さんは絵本が好きですか。

絵本が「好きだと思う」、「どちらかという好きだと思う」と答えた人は93%となっており、ほとんどの子ども（園児）は読書好きであるといえる。

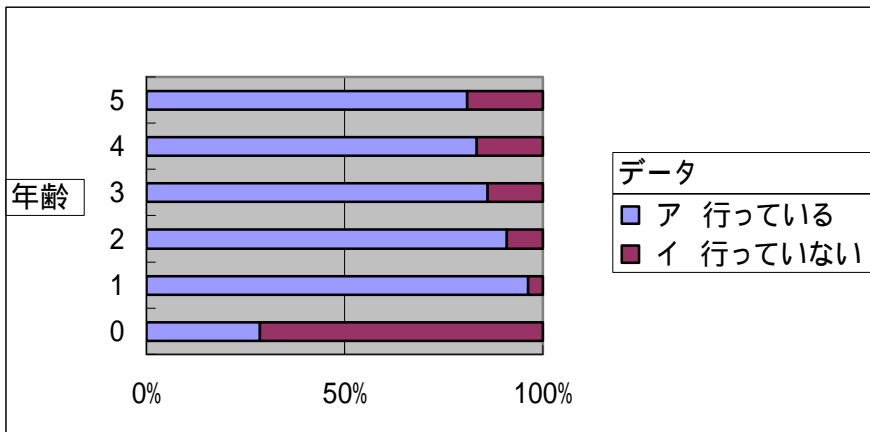
年齢	ア 好きだ と思う	イ どちらかとい うと好きな方だ と思う	ウ どちらか という好きでは ないと思う	エ 好きでは ないと思う	オ わからない
0	1	1	1	0	4
1	16	9	2	0	0
2	32	20	2	0	1
3	53	44	3	0	1
4	68	32	7	1	0
5	78	31	5	0	1
総計	248	137	20	1	7



問3 - 1 家でお子さんに「読み聞かせ」を行っていますか。

年齢が上がるごとに「読み聞かせ」を行っている割合が減少しているものの、園児全体で見ると84%の人が「読み聞かせ」を行っている。

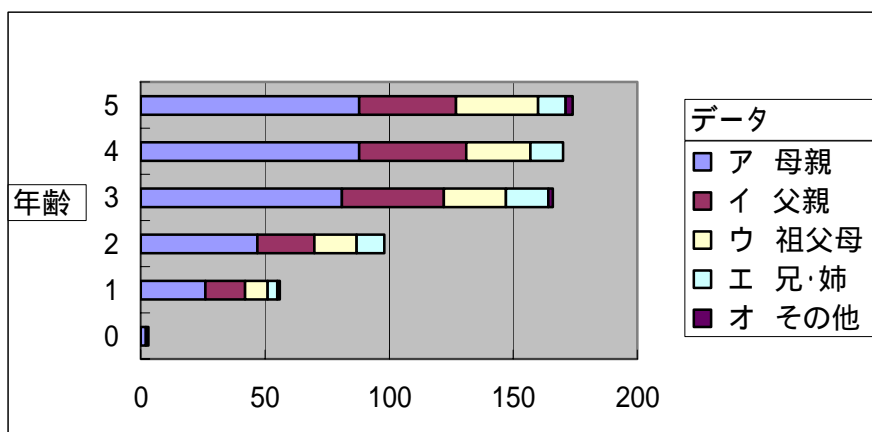
年齢	ア 行っている	イ 行っていない
0	2	5
1	26	1
2	50	5
3	87	14
4	90	18
5	93	22
総計	348	65



問3 - 2 家でのお子さんの読み聞かせは誰が行っていますか。《複数回答可》

家庭での読み聞かせの実態について質問したところ、約半数は「母親」が行っており、次いで父親、祖父母の順となっている。子どもに接する機会が多い順に読み聞かせを行っているといえる。

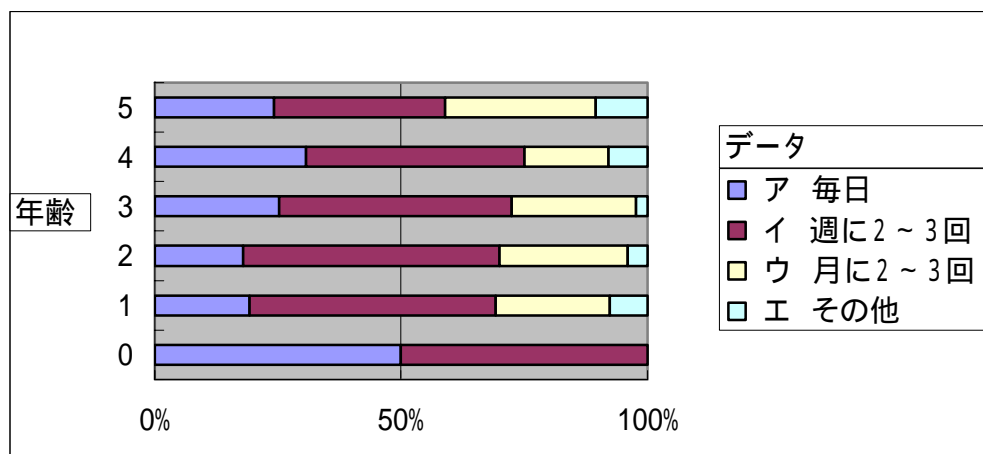
年齢	ア 母親	イ 父親	ウ 祖父母	エ 兄・姉	オ その他
0	2	1	0	0	0
1	26	16	9	4	1
2	47	23	17	11	0
3	81	41	25	17	2
4	88	43	26	13	0
5	88	39	33	11	3
総計	332	163	110	56	6



問3 - 3 お子さんにしてあげる読み聞かせの回数を教えてください。

「週2～3回」の読み聞かせが44%と最も多く、次いで「毎日」、「月2～3回」の順となった。その他の回答では「不定期に」、「決まっていない」、「ときどき」などがあった。

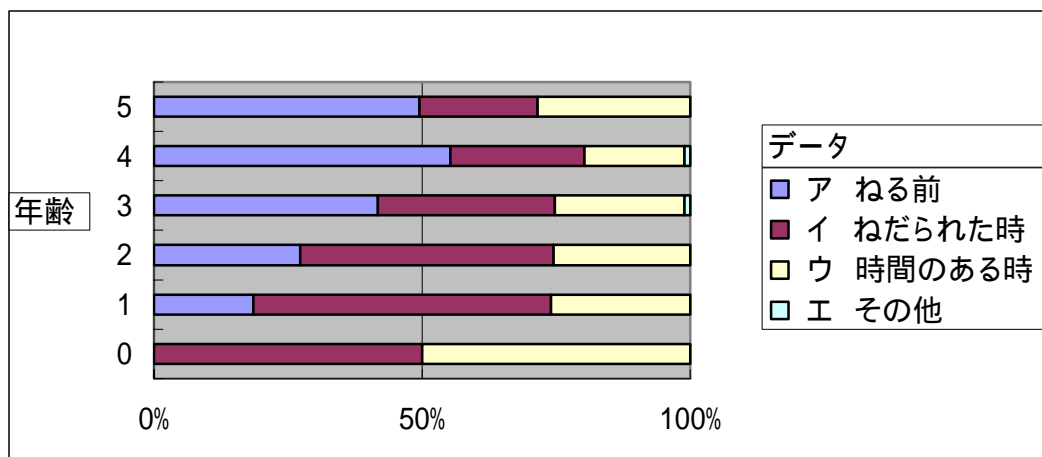
年齢	ア 毎日	イ 週に2～3回	ウ 月に2～3回	エ その他
0	1	1	0	0
1	5	13	6	2
2	9	26	13	2
3	22	41	22	2
4	27	39	15	7
5	23	33	29	10
総計	87	153	85	23



問3 - 4 主にどんなときに読み聞かせをしていますか。

「ねる前」が43%と最も多く、次いで「ねだられた時」、「時間のある時」など不規則に行っている。

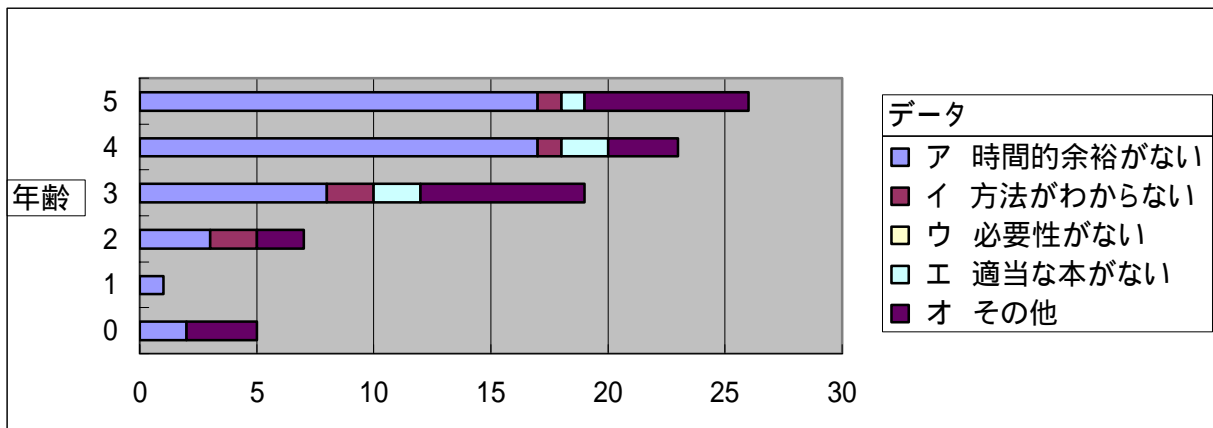
年齢	ア ねる前	イ ねだられた時	ウ 時間のある時	エ その他
0	0	1	1	0
1	5	15	7	0
2	15	26	14	0
3	38	30	22	1
4	53	24	18	1
5	47	21	27	0
総計	158	117	89	2



問3 - 5 読み聞かせをしていない理由について教えてください。《複数回答可》

問3 - 1で「読み聞かせを行っていない」と答えた理由について聞いたところ、「時間的余裕がない」が最も多かった。次いで「方法がわからない」、「適当な本がない」の順となっている。その他では「子どもが自分で読むから」、「興味を示さない」といった回答が目立った。

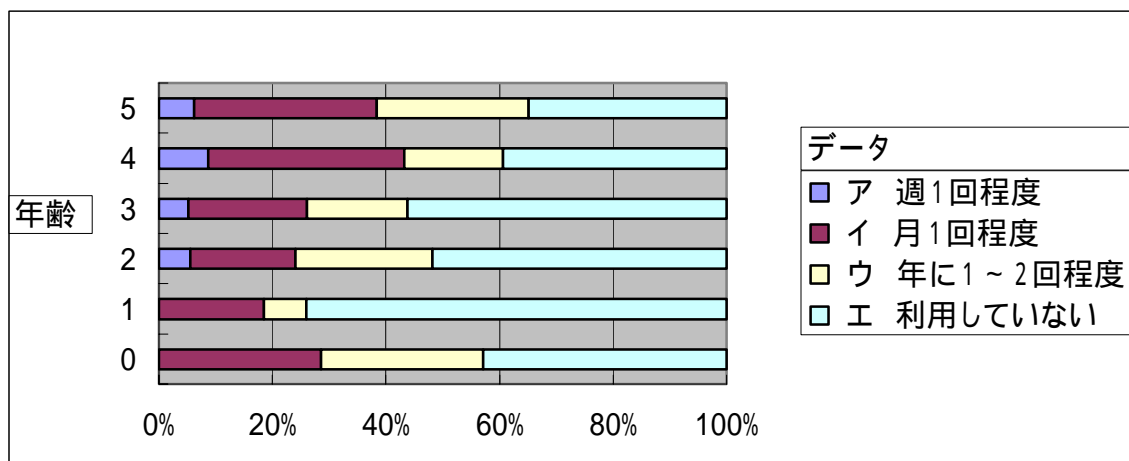
年齢	ア 時間的余裕がない	イ 方法がわからない	ウ 必要性がない	エ 適当な本がない	オ その他
0	2	0	0	0	3
1	1	0	0	0	0
2	3	2	0	0	2
3	8	2	0	2	7
4	17	1	0	2	3
5	17	1	0	1	7
総計	48	6	0	5	22



問4 お子さんのための市図書館の利用頻度を教えてください。

市図書館は「利用していない」と答えた方が46%と最も多く次いで「月1回程度」、「年に1回～2回程度」となっており利用頻度はかなり低いことが伺える。

年齢	ア 週1回程度	イ 月1回程度	ウ 年に1～2回程度	エ 利用していない
0	0	2	2	3
1	0	5	2	20
2	3	10	13	28
3	5	20	17	54
4	9	36	18	41
5	7	36	30	39
総計	24	109	82	185



見附市子ども読書活動推進計画策定検討委員

区分	所属団体等	氏名
中学校代表	今町中学校	校長 吉田 一弥
小学校代表	葛巻小学校	校長 佐藤 修一
幼稚園代表	今町天使幼稚園	園長 北澤 潔
保育園代表	ちごし保育園	園長 星 義英
図書館	見附市図書館	館長 今井 恵子
公民館	中央公民館	館長 早川 洋介